

災害救助犬

# ウィークポイント

弱点もあります!



# 救えるはずの命救うために・・・

生存者を探すために  
訓練された犬です

要救助者



爆薬 爆薬探知犬



容疑者

警察犬



麻薬類  
麻薬探知犬



ご遺体

遺体捜索犬



災害救助犬



それぞれに興味反応を示す  
こともあるが告知はしない

生きている人を探す

風向き

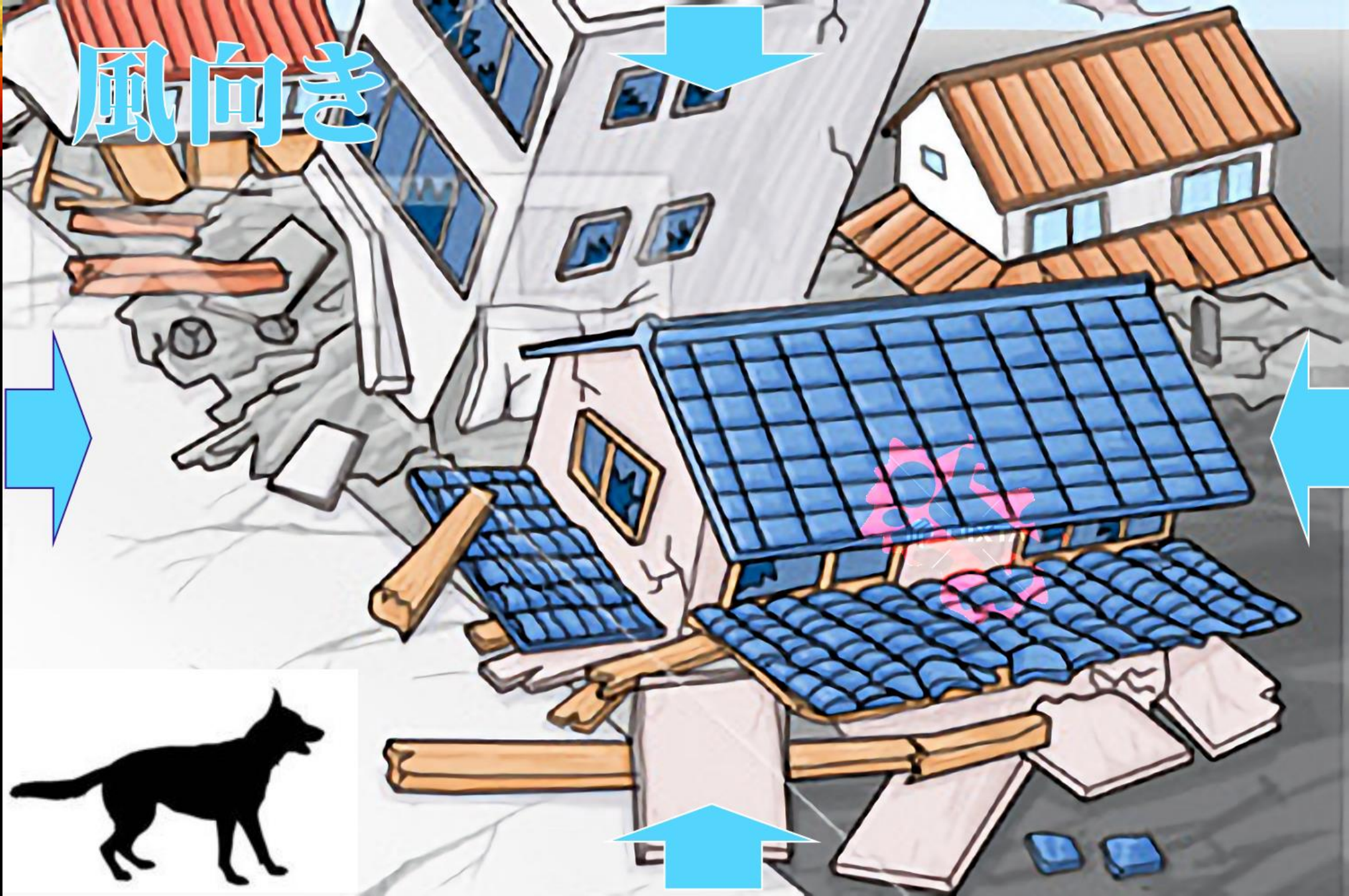
風下から風上へ向かって  
搜索しますが・・・

風下なら100m!?

風上なら0m!?

# 風向き

風下で告知



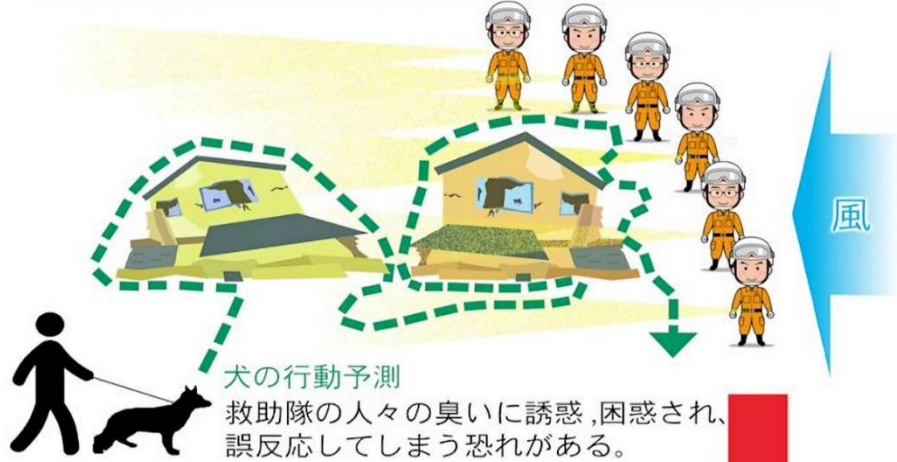
# 風向き

パウダーなどで風向きを確認しながら風上に向かって作業を行います

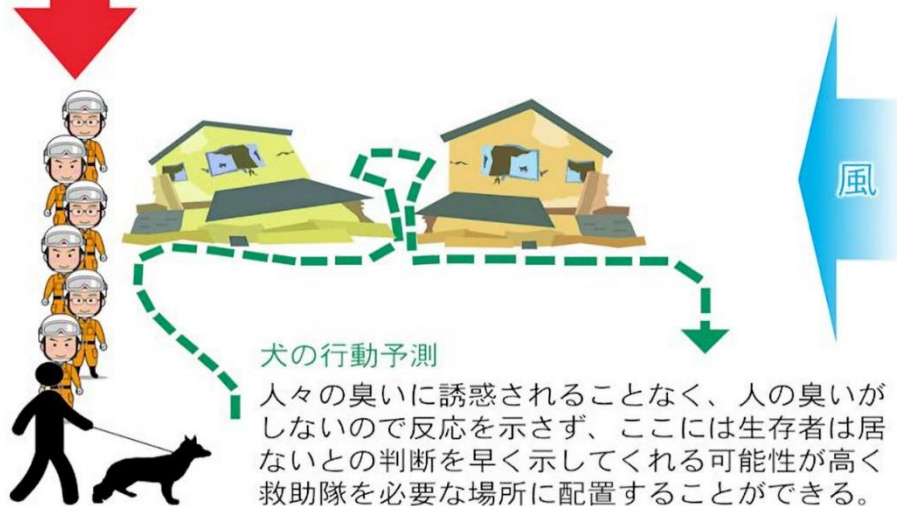
人の臭いの流れ

## 回答ゼロの場合

対象エリアを風下から風上へ搜索



救助隊は風下側に移動してもらおう



## 不明者がいる場合

対象エリアを風下から風上へ搜索



救助隊は風下側に移動してもらおう



生活臭・残留臭

現場には様々な臭いがあり、  
犬は反応します。  
それらを見極める人の能力が  
求められます。

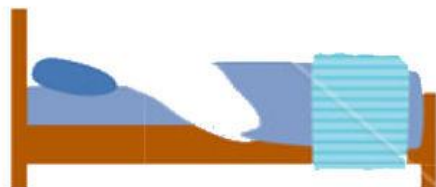
# 生活・残留臭

様々な臭いに  
反応を示すが  
告知はしない

生活臭・残留臭



! ?



「助けて」と声を出したり、  
動けば元気な人と判断します。  
臭いを感知してその場所には  
行くので見つけられます。



# 要救助者の態度

要救助者の状態・態度



人には反応するが告知しない

たすけて...

暑さは犬の天敵です。  
夏ならば10分間/頭、以内の  
作業時間にしていきます。  
交代継続が必要になります。

# 気温

作業時間目安

25°C～：10分

～15°C：20分～30分



生きている要救助者を探すため  
訓練しているのが使役犬です。  
災害救助犬に遺体搜索すること  
はできません。

偶然のために出動はしません。

# 遺体

遺体

様々な臭いに反応を示すがそれが何であるかの確信はない。告知はしない反応である遺体もその一つであるが、24時間程度は生体臭を確認できる場合がある。

日本には遺体捜索犬はいない

!?

遺体臭

呼気・体臭・ラフト



災害現場はすべて初めての場所、環境です。

雑踏に影響されず、いつもの作業を行えることが条件です。

# 環境

様々な環境でも  
作業ができるか



必要な時、必要な場所で作業させるためには、平時に様々な環境で訓練することが必要です。

「かくれんぼ」だけでは現場で要救助者を探し出すことはできません。



# 作業意識

必要な時に直ぐ  
作業に入れるか



# ウイークポイント

弱点というより特性として

**反応しているのは何に対してか？**

その**反応を見極める**のが災害救助犬チームの能力。

**嗅覚が優れている**からこそ、様々な臭いに反応する。

何でも探せるという期待は**誤解**されている。

犬は教えたこと、訓練したことしかできない。

災害救助犬は**生きている人を探す**犬である。